

## 第7回国道169号高原トンネル安全対策検討会 議事概要

1 日時 : 令和6年7月12日 14:40~16:10

2 場所 : 吉野土木事務所 会議室

3 出席者 :

委員長	(一社) 日本建設機械施工協会	施工技術総合研究所長	真下 英人
委員	(一財) 砂防・地すべり技術センター	総括技師	綱木 亮介
委員	国立研究開発法人 土木研究所	地質監	阿南 修司
委員	国立研究開発法人 土木研究所	道路技術研究グループ トンネルチーム 上席研究員	日下 敦
委員	国土交通省 近畿地方整備局	道路部 道路保全企画官	平井 義博
委員	国土交通省 近畿地方整備局	河川部 河川保全管理官	豊田 陽介
委員	奈良県 県土マネジメント部	防災政策官	能登 隆
委員	奈良県 県土マネジメント部	砂防・災害対策課長	岩館 知哉

4 議 事

- 1) 対象地区の概要
- 2) 工事状況
- 3) これまでの計測結果
- 4) 監視体制等について

5 主な議事内容

対策工が完了し、地すべりの変位が緩慢化するなどの効果が見られる。更なる効果の確認には期間を要するため、今後も継続して観察・計測しながら監視を続けていく必要がある。計測値等の結果を踏まえて今後監視体制の見直しを検討する。